

所 属	尼崎市立尼崎双星高等学校	高校教育課
担当者	福井 厚輔	中道 隆広
電 話	06-6491-7000	06-4950-4710

わくわくロボット操作体験「ロボメイツ」の実施について

尼崎市立尼崎双星高等学校は、10月26日に上坂部小学校で、ロボットの操作体験を行う小学6年生向けイベント「わくわくロボット操作体験『ロボメイツ』」を実施します。

本校では、商業学科の「課題研究」の授業の一環で、生徒が「リレー式体験学習」に取り組んでいます。まず産業用ロボットについて学び、プログラミングなど操作方法を覚えた上で、次は先生役となって小学生へ教える体験イベントを企画・運営するという活動です。本イベントはその実践として企画しました。

本イベントを通じ、ロボットへの興味・関心を高めるだけでなく、高校生と小学生の交流を図り、高等学校と小学校の連携もさらに深めていきます。

1 イベント概要

- (1) 日 時 令和4年10月26日（水）13時45分～15時20分
- (2) 対象者 上坂部小学校 小学6年生 92名
- (3) 場 所 上坂部小学校体育館(尼崎市東塚口町1丁目15番36号)
- (4) イベント企画メンバー
 - ① 尼崎双星高等学校 商業学科 生徒26名 教員2名
 - ② ㈱エアグラウンド スタッフ 7名
 - ③ 産業技術短期大学
- (5) 実施内容
 - ① アームロボットを使用したプログラミング体験
 - ② ロボット模型ハンド部分の工作体験



2 小学校、高等学校、民間企業が連携し取り組む意義

小学校でプログラミングの授業が始まるなど IT 教育が本格化する中、現在、工場や店舗などでは働くロボットの増加に伴い、操作するオペレーターが不足しています。

そういった状況の中、今の小学生が就職する頃には人間とロボットの協働が更に進み、小学生のうちから操作体験を通してロボットに親しむために、株式会社エアグラウンドがロボットオペレーターの育成を目的とした教育プログラムである「わくわくロボット操作体験『ロボメイツ』」を活用し、体験することは、将来を考えても意義のある活動だと考えます。

また、生徒にとっては、人に教えるためにまず自ら内容を理解・習得し、その上で「どうしたら小学生が興味を持ち、楽しくできるか」を考え、形にする必要があります。仲間と意見を交換しながら内容を練り上げ、段取りを進めるチームワークやコミュニケーション力が育まれます。

3 当日の取材申し込み

当日、本授業の取材をしていただける場合は、10月25日(火)午後4時30分までに電話で高校教育課の内山又は熊谷（電話：06-4950-4710）までご連絡ください。

以 上